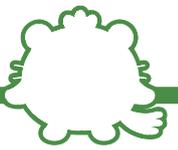




政策分野Ⅲ

第3節 健康・医療・福祉

多様な主体が連携して取り組む健康づくり活動を促進するとともに、住み慣れた地域の中で、安心して住み続けることができる地域包括ケアを実践します。



まちづくりの基本方向3

体と心がちょうどいい幸せを感じるまち

【主要分野】

医療・健康
福祉

【アンケート・地域懇談会・事業者団体ヒアリングの結果】

- 「町内医療体制の充実」や「安芸太田病院事業の充実」における満足度は高くなっています。
- 介護にかかる負担や不安が大きくなってきていますが、住民の多くはさらなる地域医療、福祉サービスの充実を求めています。
- 働き世代からの健康づくりへの意識が高まっており、多くの住民は、健康に暮らしていけるまちづくりを望んでいます。
- 高齢化が進むことで、住民の多くは地域で自助共助の助け合いの意識を持つことが重要だと感じており、地域で高齢者を支えることができる見守りなどの仕組みづくりを求めています。
- 高齢者や障がい者など誰もが生きがいをもって社会に参加でき、一人ひとりが役割をもって生活できる環境づくりが求められています。

【関連する分野】

生活利便性
環境

- 通院等における公共交通について、タクシーへの助成や「あなたく」など、さらなる利便性の向上が求められています。
- また買い物や金融機関、その他生活に必要な施設等へのアクセスについて、交通弱者が利用しやすいよう、さらなる公共交通の改善を求めています。
- 豊かな自然環境を活かしたアクティビティなど、働き世代からの健康づくりができる環境が求められています。



施策6 地域共生社会の実現をめざします

めざす住民の生活状態

- 誰もが地域社会での役割を担い、参画し、生きがいを感じながらいつまでも活躍できています。
- 住み慣れた地域を起点として、つながりと支え合いによる地域包括支援の仕組みがつくられ、誰もが自分らしく安心して暮らしています。

現状と課題

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、65歳以上の人口は、現在3,000万人を超えており（国民の約4人に1人）、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。

このような状況の中、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。（厚生労働省HPより抜粋）

全国的にも少子化、高齢化が進み、人口構成の変化、社会経済環境、ライフスタイルの変化等により家庭や地域の問題が、複雑、重層化するケースも見受けられています。対象者別制度・施策だけでは対応できない課題や複数機関の連携がないと解決できない課題が増加、顕在化しています。

また外国人町民にとって、言葉や文化の壁があるものの、地域の一員としてまちづくりに参加し、外国人も暮らやすい環境を整え、多文化共生を推進していく必要があります。

【町民意見・提言】

- 住民が健康で暮らしていける、高齢になっても働ける町をめざしてほしい。
- 運動する施設や若い人から高齢者まで参加できる集いの場づくり。
- 高齢者が笑顔で楽しんでいると、若者も後に続いてくれる。
- 高齢者や障害者がどこまでも幸せに暮らせる地域をつくってほしい。

施策の展開方針

「社会参加・活躍」「学び」「健康づくり」等の活動を連携させ、活力のある生涯活躍の地域づくりを進めます。また福祉、介護、医療、生活等の困りごとの総合的な、相談体制、支援体制を構築するため、関係機関、関係課が連携することで、多世代共生のまちを実現するための居住環境づくりを進めます。

若年者から高齢者、障がい者、外国人など様々な人が集い、互いに交流が持てる場を創出し、誰もが生きがいを持って社会に参加できる「ごちゃまぜ」の環境を整えます。さらに、一人ひとりが役割を持って生活ができる環境を創出します。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課	指標データ 出典元
1	とごうち・加計拠点利用者数	5,516人 (H30実績)	28,000人	企画課	拠点利用者数 調査（町調）
2	地域包括ケアシステムシンポジウムの参加人数	115人	140人	福祉課 健康づくり課 安芸太田病院	地域包括ケア シンポジウム 参加者数調査 （町調）

◆関連する計画等

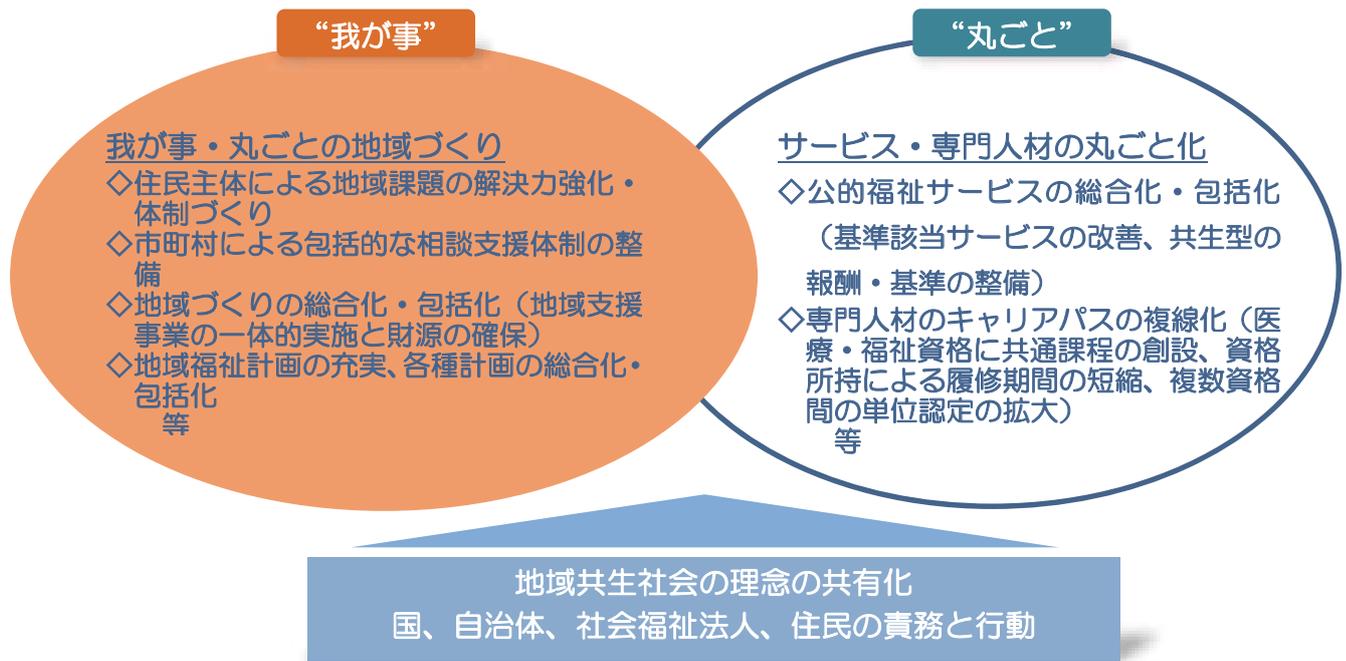
No.	関連する計画等	担当課
1	安芸太田町第7期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画	福祉課
2	第2期地域福祉計画	福祉課



◇個別施策

015	医療・福祉・介護の連携の充実	担当課	福祉課 健康づくり課 企画課		
全世代・全対象型の地域包括ケアシステムを進めるために、町民目線で相談、支援体制を捉え、多様化するニーズに対して機動的に対応できる組織体制を確立します。					
	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	「自助」「互助」「共助」「公助」の更なる連携推進	関係機関及び町民への研修	3回	5回	福祉課
2	地域包括ケアシステム推進事業	地域包括ケアシンポジウムの開催回数	1回	1回	福祉課 健康づくり課 安芸太田病院

「地域共生社会」実現の全体像イメージ



出所：厚生労働省

本町では、地方創生事業として取り組んでいる「生涯活躍のまち」形成事業を推進するため、公益社団法人 青年海外協力協会（JOCA）を「地域再生法」に基づく、「地域再生推進法人」に指定しました。

青年海外協力協会（JOCA）との連携により、多様な人材、ノウハウの導入を図り、安芸太田町版「生涯活躍のまち」形成事業を推進し、「誰もが安心していつまでも住み続けられる地域」の実現に向けて取り組んでいきます。



施策7 生涯を通じて笑顔で元気に暮らせる環境を整えます

めざす住民の生活状態

- 元気な暮らしを支える健康づくりが進んでいます。
- 住民の多くが生涯現役で心も体も健やかに暮らし、「元気」と感じる人が増えています。

現状と課題

国では、急速な高齢化や生活習慣の変化により疾病構造が変化し、生活習慣病やその原因となる生活習慣の改善をするため、国民が主体的に取り組める新たな国民の健康づくり運動を展開するための「健康日本21計画(第2次)」を推進しており、本町においても「第2次健康安芸太田21」の推進を図っています。

健康寿命の延伸と健康格差の縮小、生活習慣病の発症と重症化予防の徹底、健康を支え、守るための社会環境の整備を基本方針としています。

【町民意見・提言】

- 若いうちから健康づくりに興味を持つ仕組みを整えてほしい。
- 健康寿命を延ばす・方法を考える事が大切。
- まだまだ余力のある高齢者がより一層地域に貢献できる仕組みづくりが必要。

施策の展開方針

食生活や生活スタイルの変化・多様化等を背景として、生活習慣病及び予備群が増加しています。これに伴い、今後、医療費や介護保険費用に係る社会的な負担が一層増加するとの懸念が高まっています。

一方、死亡の要因としては「がん」「心疾患」「脳血管疾患」等が上位を占めており、長期間にわたる生活習慣を起因とした疾病への対策が必要です。生活習慣病は、一人ひとりの食生活改善や運動習慣による予防が大切です。生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、ライフステージにあった生活習慣の改善対策に努めます。

そのために、将来にわたる一人ひとりの健康づくりの基本である、子どもの頃からの食生活改善、運動習慣の定着、口腔の健康づくりを進めるとともに、特定健診やがん検診の普及啓発に努め受診率の向上を図ります。

合併10周年を迎えた平成26(2014)年10月に「健康のまち」宣言を行っており、関係機関と連携した健康づくりグループの育成や活動支援、地域住民の健康気運の醸成等各種施策をきめ細かに進め、地域や学校、企業、行政が一体となって健康のまちづくりを進めます。

また出産を控えた母親が、父親とともに安心して出産を迎え、身近な子育て支援制度等を気軽に利用できるよう、育児相談体制の充実を図るとともに、乳幼児が健康に育つよう健康診査の取組みを引き続き推進します。

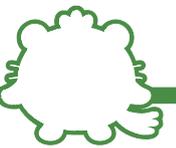
さらに生涯スポーツ活動を推進するため、活動支援や施設の充実を図ることで、健康づくりにも取り組めます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課	指標データ 出典元
1	体育協会会員数	512人	500人	生涯学習課	活動実績調査 (町調)
2	8020表彰者数	26人	26人	健康づくり課	活動実績調査 (町調)

◆関連する計画等

No.	関連する計画等	担当課
1	第2次健康安芸太田21	健康づくり課



◆個別施策

016		ライフステージに応じた健康づくりの推進	担当課	健康づくり課 生涯学習課	
<p>安芸太田町にいながらにして競技スポーツ、健康増進スポーツの推進を図り、いつまでも健康で自立して過ごせる体力をつけることを支援します。また生涯現役で元気に過ごすため、心と体の健康づくりと生きがいづくりを支援します。</p>					
	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	健康で規則正しい生活に関する啓発・指導	訪問指導の回数	804回	830回	健康づくり課
2	保健体育総務管理事業	町内スポーツイベントおよび講習会開催回数	10回	15回	生涯学習課
017		病気・疾患の予防と早期発見	担当課	健康づくり課	
<p>特に青壮年層（16歳から50歳ぐらいまで）に対して生活習慣病やがんの予防、健康づくりに関する知識の啓発を行い、重症化を予防します。特定健康診査及びがん検診、人間ドックの受診率を高める取組みを進めます。</p>					
	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	感染症に対する啓発活動	接種率向上のための啓発	2回	3回	健康づくり課
2	山ゆり健診・人間ドック(特定健診含む)	山ゆり健診実施日数	7日	7日	健康づくり課
018		母子保健活動の推進	担当課	健康づくり課	
<p>安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目のない妊産婦・乳幼児保健対策の充実を図ります。</p>					
	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	育児相談の充実(食育推進)	育児相談回数	80回	90回	健康づくり課
2	妊娠期からの子育て世代との交流拡充	妊婦交流会と離乳食教室の開催数	4回	4回	健康づくり課
019		口腔の健康づくりの推進	担当課	健康づくり課	
<p>歯と口腔の健康づくりは、子どもの健やかな成長や糖尿病をはじめとする様々な生活習慣病の予防、高齢者の介護予防など全身の健康づくりに重要な役割を果たすことから、各世代に応じた総合的な歯と口腔の健康づくりを進めます。</p>					
	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	口腔ケアの重要性の啓蒙推進	口腔ケア指導の実施	21回	21回	健康づくり課
2	歯科検診の充実	歯周疾患検診受診率向上のための啓発	2回	2回	健康づくり課



安芸太田町もみじウォーク



インフルエンザ予防啓発ポスター



施策8 地域で安心して暮らせる地域医療サービスを提供します

めざす住民の生活状態

- 住民にとって安心できる町内の医療体制、高度医療や緊急医療等に関する広域的な連携体制が確立しています。
- 医療・保健・福祉の連携が強化され、住み慣れた地域で健康に暮らせる環境が整っています。

現状と課題

町民すべてが安心して暮らし、安心できる医療の充実に向け、様々な疾病に対応するために予防・早期発見から治療への対応が求められています。病院間の連携により患者の不安をなくし、住み慣れた地域で暮らすことができるきめ細かい支援に取り組む必要があります。併せて医師・看護師等の医療従事者の確保と養成が必要であるとともに、働き方改革への対応も求められています。

【町民意見・提言】

- 町内に小児科や産科があると子育て世代も安心して暮らせる。
- 急なケガや病気にすぐアクセスできるスマートフォンやパソコンなどで相談できる仕組みがほしい。
- 予防医学を推進してほしい。

施策の展開方針

人口減少社会の到来や超高齢社会の到来等、地域医療を行う医療機関には厳しい現状にあります。

しかしながら、このような状況においても必要ときに必要な医療が提供できるよう、病床機能の確保、医療人材の確保や育成支援、ICT※を活用した地域医療ネットワークの構築等、様々な医療施策を着実に推進していきます。

これからの医療提供体制を構築するために、国の医療制度の動向も確認しながら、町民の皆様から貴重なご意見をいただき、町の医療機関の役割やあり方に関する一定の方向を示すため協議します。

高度急性期病院と連携をしながら、専門的な手術を終えた患者を町内で受け入れ、リハビリ等の実施を

終えた患者が在宅に生活できるよう、具体的に協議し包括的な医療体制を目指します。

「治す医療」だけでなく「治し、生活を支える医療」を目指し、医療・介護・予防・生活支援・住まいが、住み慣れた地域で一体的に提供されるような体制づくりを行います。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課	指標データ 出典元
1	町内医療機関医師数	11人	12人	安芸太田病院	医師数調査 (町調)
2	がん検診の精密検査受診 件数	1,043件	1,050件	安芸太田病院	受診者調査 (町調)



加計高校での献血の様子



保健・医療・福祉統括センター



◆個別施策

020	適切な医療を受けるための医療提供体制の充実	担当課	安芸太田病院 住民生活課 健康づくり課		
<p>町内で医療を受けることができるよう医療機器等の環境整備を行い、疾病の早期発見を図り、治療につなげます。</p> <p>さらに、高度急性期病院とは専門的な治療が終わった患者を受入れ、住み慣れた地域で生活できるように連携します。そのため、医療資源の有効活用や医療人材の確保等、医療が提供できる環境づくりに取り組めます。</p> <p>安芸太田町に研修医を研修させる地域医療研修があり、地域の病院として、救急、急性期から慢性期、在宅につなげるための診療等を習得するのが目的です。研修医を確保している医療機関との連携数を増やし、地域医療で働きたい医師を増やせるように研修医を受入れます。</p> <p>また、医療従事者の研修は、安全な医療提供を行うために研修を充実させ、技術力を高めます。</p>					
主要事業		活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	地域医療研修	研修医の受入件数	8件	10件	安芸太田病院

021	医療の広域連携の促進	担当課	安芸太田病院 健康づくり課		
<p>診療所、安佐市民病院、広島大学など医療関係機関等、および広島県との連携を密に図り、住民が安心して医療を受けることができる体制を整えます。特に高度急性期病院との連携にあたり、医療ICT*による安佐市民病院との医療体制の強化など、広域医療体制の充実を図ります。</p>					
主要事業		活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	医療ICTによる安佐市民病院との事例検討会	テレビ会議システムによるカンファレンス件数	120件	132件	安芸太田病院

安芸太田病院



平成31年3月18日、安芸太田町は、広島市と地方独立行政法人広島市立病院機構の3者で、連携中枢都市圏形成に係る連携協約書に基づく医療連携実施協定を締結しました。

【協定の内容】

連携中枢都市圏形成に係る連携協約書に掲げる「圏域北部における拠点病院の整備」及び「地域医療提供体制の確保」を進めるため、地域住民が必要とする医療の提供を行う上で必要となる取組について、次のとおり協定を締結しました。

今後、この協定に基づき、民間病院の役割を尊重しながら、広島市、地方独立行政法人広島市立病院機構及び安芸太田町が連携し、将来にわたって、地域住民に必要な医療を提供できるよう、次の事項について連携して取組めます。

- 安芸太田病院の医療体制の確保のため、医療スタッフの派遣や診断・治療方針の助言など、必要な支援を行い、地域医療を支える。
- 安芸太田病院に勤務する若手医師等に研修・研鑽機会を提供する等、医療人材育成環境の充実を図る。
- 医療材料の共同購入等により経費の削減を図り、経営改善に資する取組を進める。



施策9 障がい者(児)が安心して暮らせる環境を整えます

めざす住民の生活状態

○障がい者の自立を支える環境が整い、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

現状と課題

障がい者(児)が安心して地域で暮らせるための福祉サービス、生活の拠点など社会資源は不足してします。また自立していくうえで雇用の場の確保等の課題もあります。
総合的・専門的な相談体制の整備が必要となっています。

【町民意見・提言】

- 地域で支え合いながら、障がい者も安心して生活できるまちづくりをめざしてほしい。
- 高齢者も障がい者も自立して働ける場所が必要。

施策の展開方針

国は平成26(2014)年に国連「障がい者権利条約」を批准するなど、障がい者の権利保護、福祉向上への取組みを進めています。

一方、高齢化の進行等を背景として障がい者数は増加しています。

本町は、障がい者(児)の個の尊重と自立に向けた生活の支援を推進しており、引き続き、障がい種別やライフステージに応じたきめ細やかなサービスを提供していきます。

また平成30年3月には「第5期障害者計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画」を策定し、「地域で安心して暮らせる生活の基盤づくり」を目指して、引き続き、障がい者の福祉向上や必要な障がい福祉サービスの確保と体制整備に努めていきます。

特に、障がい児の発育支援の強化、障がい者(児)の移動手段の確保、障がい者(児)に対する理解を深める交流機会の拡充、地域ボランティアの育成等障がい者(児)が安心して地域で暮らすことのできる環境づくりに取組みます。

また、誰もが生きがいを持って社会に参加でき、一人ひとりが役割を持って生活ができる環境を整えるため、障がい者の雇用促進、就労支援、相談体制の充実を積極的に図ります。

◆ 成果指標

No.	目標指標	現状値(R1)	目標値(R6)	担当課	指標データ出典元
1	就労系サービスの利用件数	28件	40件	福祉課	障害福祉サービス費等請求額通知書(町調)
2	福祉施設から一般就労へ移行した人数	1人	4人	福祉課	一般就労者への移行調査(町調)

◆ 関連する計画等

No.	関連する計画等	担当課
1	第5期障害者計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画	福祉課



安芸太田町無料
職業紹介所





◆個別施策

022 障がい者(児)の日常的・社会的な自立の支援		担当課		福祉課 住民生活課							
<p>重度心身障がい者に対し、医療費の助成を行い、保健の向上と福祉の増進を図ります。また、障がい者(児)が地域で安心して日常生活が送れるよう相談や住居の確保など自立した生活を支援します。</p> <p>さらには町で開催される行事や地域活動、スポーツ活動、文化・芸術活動等の社会活動について、障がい者の参加を妨げないよう配慮し、車いす専用の移送支援や地域生活支援事業の移動支援等、誰でも参加しやすい環境づくりを図ります。</p>											
主要事業		活動指標名		現状値 (R1)		目標値 (R6)		担当課			
1		特別障害者手当等給付事業		町広報による制度周知		1回		2回		福祉課	
2		身体障害者福祉医療費給付事業		関係課と連携した制度説明		22回		25回		住民生活課	
023 障がい者の雇用促進		担当課		福祉課 産業振興課							
<p>障がい者が地域で自立した生活を送ることができ、活躍の機会を得ることができるよう就労支援を進めます。またハローワークや企業、関係団体との連携を積極的に図り、就労機会の創出を支援します。</p>											
主要事業		活動指標名		現状値 (R1)		目標値 (R6)		担当課			
1		障害者自立支援給付等事業		就労相談(アプローチ)件数		5件		10件		福祉課	
2		無料職業紹介事業【再掲】		無料職業紹介事業による雇用情報の提供、相談【再掲】		146回		200回		産業振興課	

◇安芸太田町 障がい福祉サービス

自立支援給付		
介護給付	居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で食事・入浴などの介護や、調理・洗濯などの家事援助を受けることができます。
	重度訪問介護	重い障がいがあり、常に介護が必要な方が、自宅で介護や外出時の支援など総合的に受けることができます。
	行動援護	行動が困難で、常に介護が必要な方が行動する際の危険を回避するための支援などを受けることができます。
	重度障害者等包括支援	重い障がいがあり、常に介護が必要な方が、障がい福祉サービスを組み合わせ、生活全般にわたる援助を受けることができます。
	児童デイサービス	障がいのある子どもが、生活に必要なことを身につけられるよう指導や訓練などを受けることができます。
	療養介護	長期の入院による医療とあわせ常に介護が必要な方に、医療機関で日常生活全般の支援を受けることができます。
	生活介護	常に介護が必要な方が、日中施設で食事・入浴などの介護を受けたり、作業などを行うことができます。
	施設入所支援	施設に入所し、食事・入浴などの介護を受けることができます。
	短期入所	介護をする方が病気の場合などに、施設に短期間入所し、食事・入浴などの介護を受けることができます。

障がい者福祉サービスの手引





施策 10 高齢者も安心して地域で暮らせる環境を整えます

めざす住民の生活状態

○高齢者の自立した地域生活を包括的に支援する地域包括ケアシステムの深化・推進が図られ、誰もが互いの人権や個性を認め合い、助け合い、支え合いが活発に行われています。

現状と課題

本町においては、家庭・地域における「介護力」が著しく低下しており、保健・医療・福祉・介護が一体的に提供できる仕組みづくりと住民との協働による体制づくりが必要不可欠となっています。

【町民意見・提言】

- 高齢者向けの集合住居や集いの場が必要。
- 一人暮らしがとても心配。パトカーなどが頻繁に通っていただけだけでも安心する。
- 訪問看護や訪問リハビリなど、訪問サービスにもっと力を入れてほしい。

施策の展開方針

本町の高齢化が進行するなか、支援の必要な高齢者や一人暮らし高齢者も増加しています。令和元年12月末時点での独居高齢世帯数は1,012世帯、全体の世帯数3,132世帯からみると、約32%が独居高齢世帯であり、今後本町の一人暮らしの高齢者はさらに増加する見込みです。

このため、高齢者同士、若年層との交流機会など、高齢者が地域に関わり続けられる環境を目指し、「互助」「共助」の基盤づくりを図ります。

また地域のなかで高齢者が健康でいきいきと生活できるよう、健康づくり活動への参加促進などを通じて、健康寿命の延伸に取り組むとともに、要介護状態の発症予防や重症化予防対策の充実に努めます。

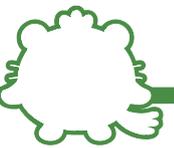
あわせて、高齢者や家族が安心して利用できるよう介護支援専門員の資質向上、居宅介護サービス、施設・居住系サービスの適正利用の推進、介護給付の適正化等、一人ひとりにあった介護サービスの充実に努めます。

高齢者が地域で安心して生活するには、地域が一体となった見守り・支えあいの体制づくりが必要です。そのため、移動手段の確保等在宅支援の充実に努めるなど、医療・福祉・介護の連携体制強化を目指した地域包括ケア体制の構築に取り組めます。

一方、元気な高齢者が生きがいをもって生活できるよう生涯学習や生涯スポーツへの参加促進や活動団体への支援を行うとともに、観光交流事業や子育て支援、さらには地域づくりの担い手として活躍できる機会の創出を図り、高齢化社会における担い手として高齢者の社会参加を図ります。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課	指標データ 出典元
1	要介護認定率	23.4%	25.0%	福祉課	第7期介護保険事業調査(町調)
2	配食サービス事業高齢者利用率	3.6%	10%	福祉課	配食サービス利用率調査(町調)



◆個別施策

024 利用しやすい介護サービスの提供		担当課		福祉課 安芸太田病院	
介護サービスの充実を図り、高齢者が安心してサービスを利用できるよう、質の向上に取り組めます。特に、在宅医療と介護の連携を推進するため、相談の受付や情報提供等を行う在宅医療・介護連携支援窓口の設置に向けた取組を推進します。また地域サロンや小規模な集いでの出前講座を行い、在宅医療・介護制度等についての普及啓発に努めます。					
主要事業		活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	趣旨普及事業	介護保険に係る制度周知 (広報)	24ページ	24ページ	福祉課
2	介護予防普及啓発事業	通いの場設置数	13箇所	19箇所	福祉課
025 高齢者の生活支援		担当課		福祉課 住民生活課	
安定した食の確保や低栄養の改善、緊急時の連絡支援など、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することが出来るよう生活支援に取り組むとともに、要介護状態の発症予防・重度化防止の充実に努めます。					
主要事業		活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	配食サービス事業	配食サービス延べ食数	17,200食	21,000食	福祉課
2	民生指導事業	定例会の開催回数 (関係者との情報交換)	12回	12回	住民生活課



※「地域包括ケアシステム」厚生労働省 HP から抜粋

平成27年6月29日(月)に学校法人常翔学園 広島国際大学の持つ専門分野(保健・医療・福祉・介護)における学術的知見と医療分野や介護・保健及び福祉の行政分野が連携・協力することにより、地域医療の充実や患者サービスの向上、安芸太田町型地域包括ケアシステムの構築と継続性を図ることを目的に連携協力協定を締結しました。

学校法人常翔学園 広島国際大学と本町との地域連携は平成16年から始まっており、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域資源量や住民ニーズの調査、地域での救急救命講座等の開催を行い、地域とのつながりも生まれています。

今回の連携協力協定を機に、地域サロンへの出前講座への参画や学生と地域住民との交流で住民の意識の活性化につながる具体的な取組を実施していきます。また、病院経営支援等を行うことにより、地域医療の安定化を図っていきます。(町HPから抜粋)



施策 11 住民同士つながりのある福祉活動を推進します

めざす住民の生活状態

- 地域の福祉活動が活発に行われ、住民の福祉意識が醸成されています。
- 地域に福祉の輪が広がり、住民の互助意識が高まり暮らしやすい福祉のまちが実現しています。

現状と課題

町では少子高齢化が進み、地域の福祉活動の担い手の不足が懸念されています。これらの解消の手段として、地域住民総ぐるみで「地域支えあい活動」を展開し、協働による地域福祉の充実を図る必要があります。

【町民意見・提言】

- 高齢者が健康に暮らせ働きやすいまちづくりをめざしてほしい。
- 地域の中の困っている人と助ける人を繋げる仕組み作りが必要。
- 地域の人がお互いに頼ることができる地域リーダーの育成が必要。

施策の展開方針

協働と補完によるまちづくりが進む中であって、地域福祉は住民の支え合い活動を基盤とする取組みといえます。

このため、地域福祉の重要性についての住民理解の促進・意識醸成を図るとともに、「互助」による地域づくりを進めます。

特に、近年自然災害による災害の大規模化が懸念される中であって、地域の要配慮者を的確かつ迅速に避難誘導できるよう、地域の自主防災組織や消防団との連携を強化し、町・社会福祉協議会・防災組織・地域等の関係機関が一体となった訓練の実施等に取り組みます。

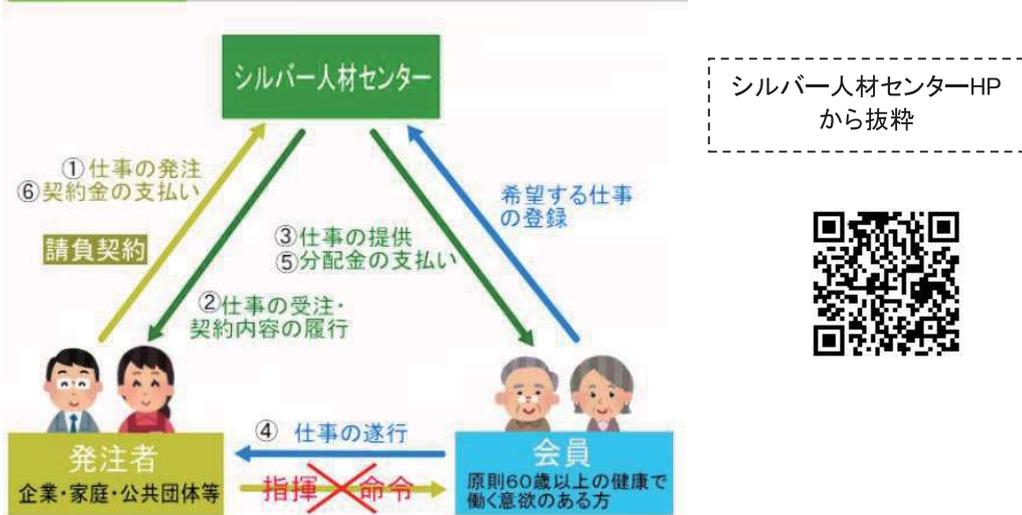
また、地域全体での「互助」の輪を広げていくため、地域福祉の担い手育成や地域福祉人材の育成とネットワーク強化について、町と地域が一体となった取組みを進めます。

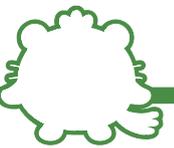
地域で健康で文化的な生活を送るため、医療や生活支援、就労支援などの取組みを推進します。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値 (R 1)	目標値 (R 6)	担当課	指標データ 出典元
1	シルバー人材センターでの就業延べ人数	4,520 人	5,500 人	福祉課	シルバー人材センター就業者調査(町調)
2	あんしんサポーター設置自治振興会数	4 自治会	44 自治会	福祉課	安芸太田町社会福祉協議会

シルバー人材センターの仕組み





◆個別施策

026	緊急時の要配慮者への支援体制強化	担当課	総務課		
<p>災害時における地域の要配慮者を的確かつ迅速に避難誘導できるよう、地域の自主防災組織や消防団との連携を強化し、町・社会福祉協議会・防災組織・地域等の関係機関においてスムーズな連携が取れる体制を整えます。そのため、防災マップの更新・配布と併せて住民への防災意識の向上を図り、また地域福祉の重要性についての住民理解の促進・意識醸成を図るとともに、「互助」による地域づくりを進めます。</p>					

主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	より安全な避難場所の確保【再掲】	0回	1回	総務課
2	自主防災組織育成支援【再掲】	0回	10回	総務課

027	地域の福祉活動の支援	担当課	福祉課 住民生活課		
-----	------------	-----	--------------	--	--

地域や住民団体等の地域に福祉の輪を広げる活動を促進・支援します。また民生委員による見守りや生活上の相談に応じます。

さらには地域全体での「互助」の輪を広げていくため、シルバー人材センターとの連携を積極的に図ることで、地域福祉の担い手育成や地域福祉人材の育成に取り組みます。

主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	社会福祉協議会運営事業	10回	13回	福祉課
2	シルバー人材センター事業補助事業	12回	12回	福祉課



安芸太田町は次の事業所と「高齢者等地域見守り活動協定」を締結しています。

この協定は、事業者が日常的な業務の範囲内で、高齢者等の家庭を訪問した際などに、何らかの異変を察知した場合に町に連絡してもらい、町は関係機関と連携して速やかに安否確認や必要な支援・対応を行うことを目的としています。

- ・郵便局
- ・新広島ヤクルト販売
- ・広島銀行
- ・広島市農業協同組合
- ・ヤマト運輸広島主管支店



施策 12 暮らしを支える医療・年金・福祉制度を維持します

めざす住民の生活状態

○健全な社会保障制度が維持され、住民生活を支えています。

現状と課題

急速な少子高齢化の進展や、社会を取り巻く情勢の変化により、「安心の支え合い」である社会保障制度への関心が高まっています。

国民健康保険制度の安定した運営への取組みをはじめ、社会保障制度全般に対する理解の促進と信頼の向上に努めることが必要とされています。

【町民意見・提言】

- 高齢者が長く安心して生活できるまちづくりをめざしてほしい。

施策の展開方針

国民健康保険制度については、広島県や県内全市町と連携して事務の標準化等を推進していくとともに、保健事業や医療費適正化の取組みを積極的に行い、財政の安定運営に努めていきます。

後期高齢者医療制度や国民年金制度については、制度への理解促進と適正な運用により、制度への信頼向上に努めます。

近年増加しているひとり親世帯については、子育てや生活全般に関する相談対応など、安心して子育てができる支援を行うこととします。

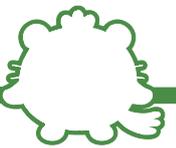
一方、生活保護については適切な運用を図るとともに、制度の意義について正しい理解を促進し、要保護世帯の自立に向けた支援を進めます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課	指標データ 出典元
1	国民健康保険税収納率	95.69% (H30実績)	96.17%	税務課	国保税徴収調査(町調)
2	特定健康診査受診率	42.6% (H28実績)	60.0%	住民生活課	特定健診受信者数調査(町調)

◆関連する計画等

No.	関連する計画等	担当課
1	第2期データヘルス計画	住民生活課



◆個別施策

028	健全な国民健康保険制度の維持	担当課	住民生活課		
-----	----------------	-----	-------	--	--

広島県をはじめ県内市町と連携して国民健康保険制度の理解促進を図るとともに、保険財政の安定化など安心して医療を受診できる環境を守ります。

	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	保健衛生普及事業	制度内容広報啓発回数	12回	12回	住民生活課
2	賦課徴収事業	納税相談対応回数	2回	2回	税務課

029	後期高齢者医療制度の適正管理	担当課	住民生活課		
-----	----------------	-----	-------	--	--

高齢者が安心して医療を受診できるよう後期高齢者医療制度の適正な実施と運営に取り組みます。

	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	後期高齢者医療広域連合負担金事業	制度内容広報掲載回数	2回	2回	住民生活課

030	国民年金制度の信頼向上	担当課	住民生活課		
-----	-------------	-----	-------	--	--

国民年金制度の理解促進と普及啓発に努めます。

	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	国民年金事業	制度内容広報掲載回数	12回	12回	住民生活課

031	ひとり親家庭の支援	担当課	住民生活課 福祉課		
-----	-----------	-----	--------------	--	--

ひとり親家庭の父又は母及び児童等に対し、医療費の助成等を行い、保健の向上と生活の安定を図ります。

	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	ひとり親家庭医療費給付事業	制度内容広報啓発回数	1回	1回	住民生活課
2	母子自立支援員設置事業	就労支援(増収、転職援助等)	3人	5人	福祉課

032	生活困窮者の自立支援	担当課	福祉課		
-----	------------	-----	-----	--	--

生活保護制度の充実と、生活困窮者の抱えている課題を把握し、生活保護に至る前の自立支援強化を図ります。

	主要事業	活動指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)	担当課
1	生活困窮自立支援事業業務委託	支援プラン作成数	15件	40件	福祉課

＜相談から支援までの流れ(相談無料・秘密厳守)＞

※厚生労働省生活困窮者自立支援制度のリーフレットから抜粋

<p>1</p> <p>まずは地域の相談窓口へ。</p> <p>各自治体の窓口には配置されている支援員が応対します。何らかの理由で窓口にお越しいただけない場合はご自宅にも訪問します。</p>	<p>2</p> <p>生活の状況を見つめる。</p> <p>あなたの生活の困りごとや不安を支援員にお話してください。生活の状況と課題を分析し「自立」に向けて寄り添いながら支援を行います。</p>	<p>3</p> <p>あなただけの支援プランを。</p> <p>支援員はあなたの意思を尊重しながら、自立に向けた目標や支援内容と一緒に考え、あなただけの支援プランを一緒に作ります。</p>	<p>4</p> <p>支援決定・サービス提供。</p> <p>完成した支援プランは自治体を交えた関係者の話し合い(支援調整会議)により正式に決定され、その支援プランに基づいて各種サービスが提供されます。</p>	<p>5</p> <p>定期的なモニタリング。</p> <p>各種サービスの提供がゴールではありません。あなたの状態や支援の提供状況を支援員が定期的に確認し、支援プラン通りにいかない場合は支援プランを再検討します。</p>	<p>6</p> <p>真に安定した生活へ。</p> <p>あなたの困り事が解決されると支援は終了しますが、安定した生活を維持できているか、一定期間、支援員によるフォローアップがなされます。</p>
---	--	---	--	---	---